

監査結果の公表(その4)

平成30年度定期監査(その4)を実施した結果の概要を次のとおり公表します。

茂原市監査委員 元吉敬宇
茂原市監査委員 金坂道人

計画された事務事業は順調に進行しており、関係諸帳簿もおおむね適切に処理されていると認められた。

◆意見

事務事業の執行状況に関する意見は次のとおりであるので、検討のうえ一層適切に事務事業が執行されるよう要望する。

【土木建設課】

○災害対策基本法第42条の規定により茂原市防災会議が作成した地域防災計画について、大雨・土砂災害時の被害防止・

拡大防止対策として、国の中央防災会議では、自治体が避難勧告や避難指示を出しても

危険性が充分理解されず住民が逃げ遅れたことを教訓に、

大雨、土砂災害時に行政が出す防災気象情報を住民に分かりやすく伝えるため、切迫度

に応じ5段階に区分した警戒レベルで発信する内容の報告

書案を示したことから、こうした情報発信のあり方について

防災担当部署と連携し取り

組まれない。

○内水対策関連事業については、

水害から市民の生命や財産等を守る重要事業であるこ

とから、財源の確保については、粘り強く国・県へ要望し

計画の推進に取り組みたい。

【土木管理課】

○道路の管理瑕疵による事故

については、毎年4～5件発生していることから、道路パ

トロールを強化し異常の有無、

応急措置の実施等必要に応じた

取組みをされたい。また、

職員による通報制度の更なる

徹底を図られたい。

○道路用地の未登記処理事務

については、専門的知識が求められることから、職員にお

いては特別研修等を含む自己

研鑽により専門知識を習得するとともに、登記事務に精通した専属職員(再任用・嘱託職員等)を配置し速やかに処理するよう改善を図られたい。

○道路・橋梁等については、

市民の生活基盤であり市民の

生命を脅かす事故に発展する

ことも懸念されるため、定期

的に点検を行うとともに計画的・

効率的な修繕を実施し、

適正な維持補修に努められた

い。また、交通安全施設等の

整備については、児童・生徒

の安全確保のため引き続き点

検を行うとともに、危険箇所

については早急に整備するよ

う取り組みたい。

【都市計画課】

○地域公共交通については、

地域公共交通会議において、

毎年利用状況の把握や生活交

通確保維持改善計画の策定、

更には事業評価を行っている

が、高齢運転者による運転免

許証返納制度が改正されたこ

とから、こうした交通弱者に

よる意見が充分反映された地

域公共交通に取り組みたい。

○路線バス運行事業の補助金

については、各路線の赤字額

を関係市町村で乗降客数に応

じ負担しているところであるが、

赤字額の精査及び更なる利用

者の増などを検討されたい。

○コンパクトシティ形成に向

けた立地適正化計画については、

は、引き続き人口減少に伴う課題等を調査研究し、市民の生活利便性の維持向上及び地域経済の活性化等を踏まえ策定に向け検討されたい。

○太陽光による発電設備につ

いては、建築物・工作物に該

当しないため開発指導等の届

出の対象外であるが、近隣住

民の生活環境の確保のために

も、県と連携を図るとともに

設置に係る届出の義務化につ

いて取り組みたい。

【建築課】

○違反建築物の指導について

は、家屋のみならず、耐震強

度が不足する危険なブロック

塀等についても危険性除去に

向けた取組みをされたい。

○空家対策の推進については、

適切に管理が行われていない

空家等が防災・衛生・景観等

地域住民の生活環境に影響を

及ぼすことから、この施策推

進に係る組織体制の整備はも

とより、職員の資質向上のた

め特別研修等を含む自己研鑽

により専門知識を習得し空家

対策に取り組みたい。

○市営住宅については、老朽

化に伴う改修及び老朽化が著

しく入居率の低い住宅の用途

廃止等集約化を推進している

が、引き続き良好な生活環境

の確保、維持管理コスト削減

等のため更なる集約化に取り

組みたい。

【都市整備課】

○茂原公園については、桜ま

つりをはじめ各種イベントが

開催される本市を代表する観

光スポットであり、地域経済

の活性化にも寄与することか

◆監査の結果

また、前回の定期監査時の指摘事項が改善されているかについて確認した。